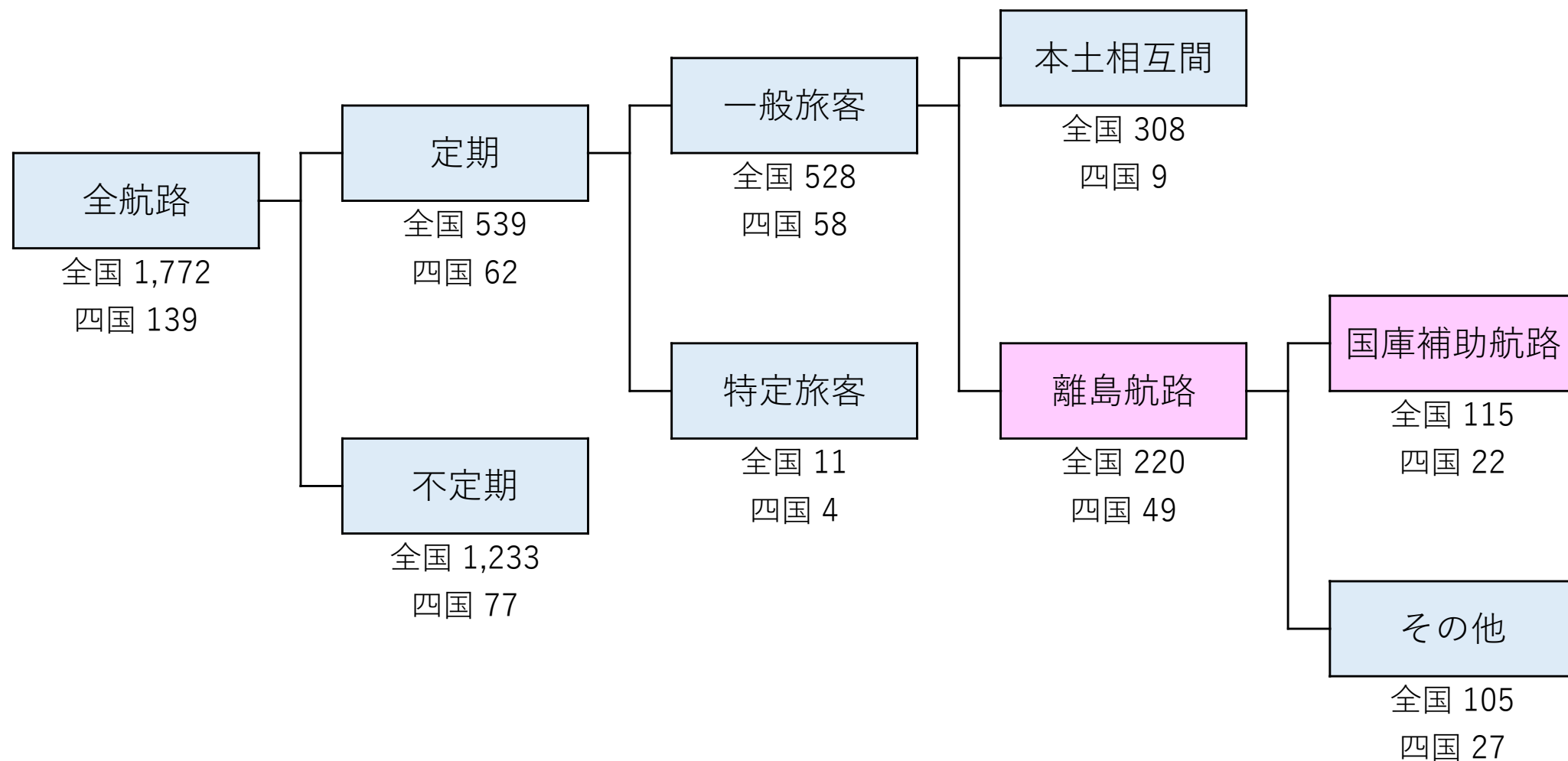


島に人を呼ぶ ～運輸局のとりくみについて～

四国運輸局海事振興部

■ 離島航路と呼ばれる航路は49航路

- ✓ 半数にあたる22航路が離島航路整備法に基づいた国庫補助航路として補助を受けながら、航路を維持



『地域公共交通確保維持改善事業』 R4予算額：207億円(R3予算額：206億円)
離島航路：70.5億円(R3予算額：70.2億円)

◇島民生活に必要な不可欠な離島航路の維持・確保を支援

○補助対象は唯一かつ赤字の航路

1. 離島航路運営費補助

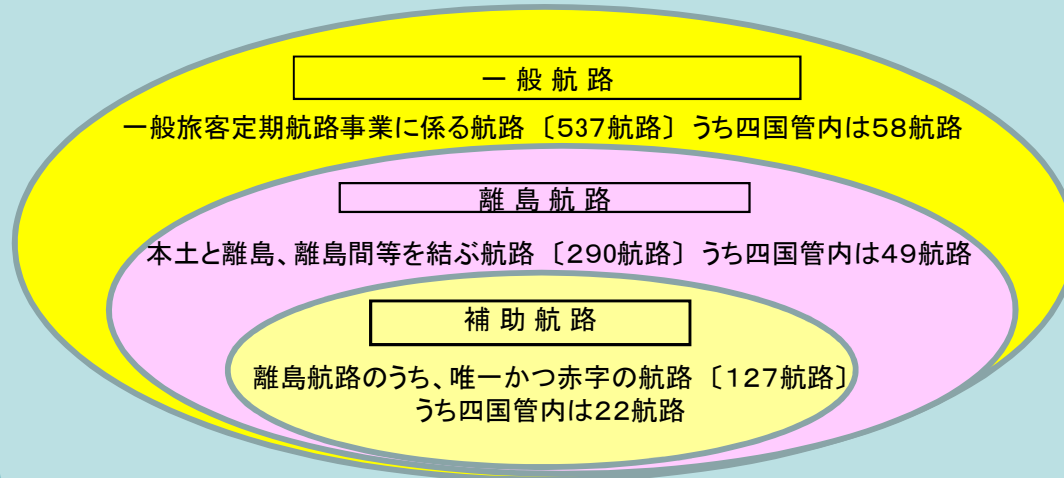
- ・欠損見込額全体に対する補助充足率は1／2

2. 離島住民運賃割引補助

- ・協議会の決定による離島住民運賃割引費用の1／2を支援(残り1／2は自治体等で負担)

3. 離島航路構造改革補助

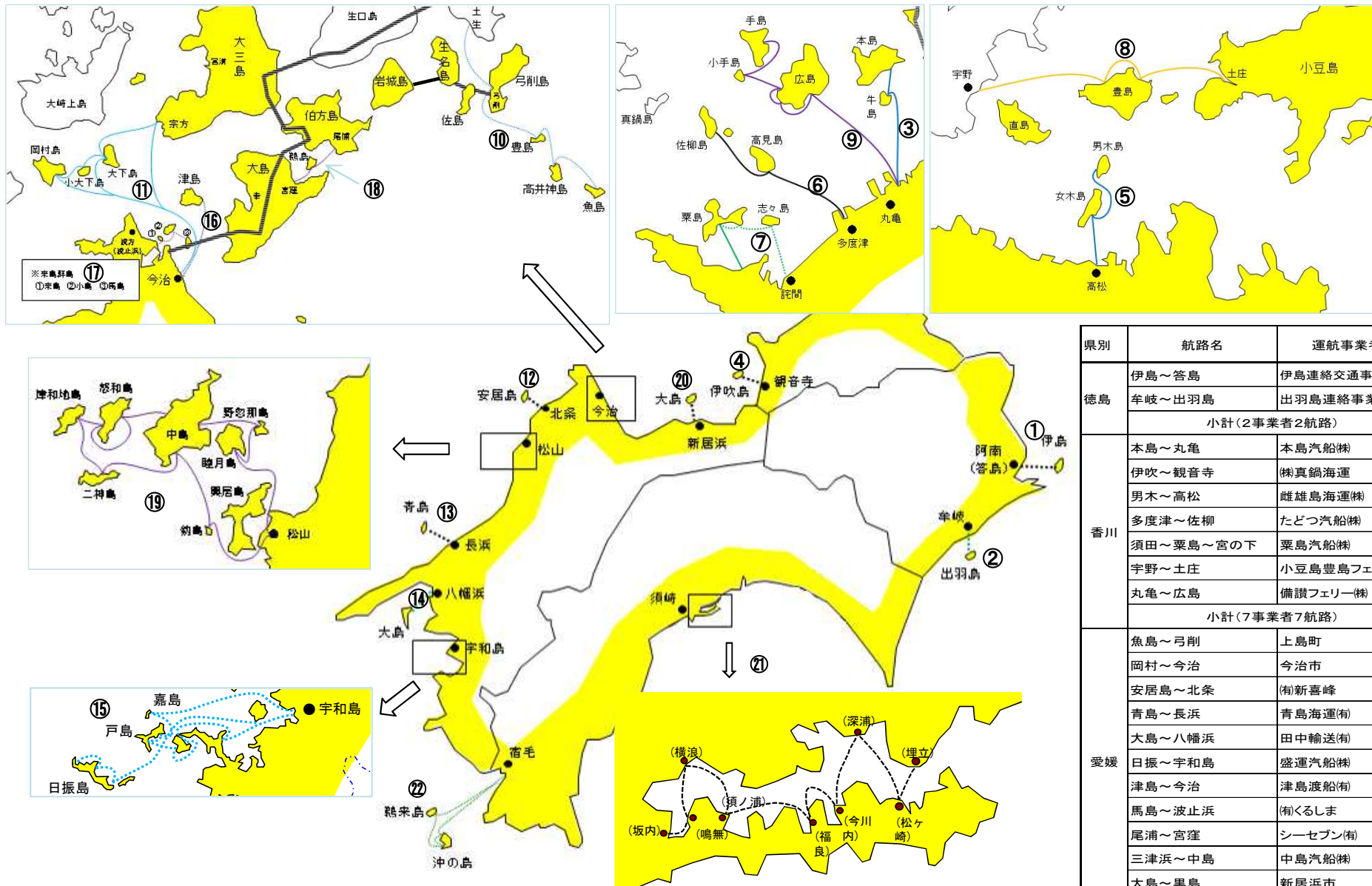
- ・公設民営化等による船舶の代替建造費用への支援



【離島航路に就航する船舶の例】



四国運輸局管内国庫補助航路一覧



県別	航路名	運航事業者	
徳島	伊島～答島	伊島連絡交通事業(有)	①
	牟岐～出羽島	出羽島連絡事業(有)	②
	小計(2事業者2航路)		
香川	本島～丸亀	本島汽船株	③
	伊吹～観音寺	榑真鍋海運	④
	男木～高松	雌雄島海運株	⑤
	多度津～佐柳	たどつ汽船株	⑥
	須田～栗島～宮の下	栗島汽船株	⑦
	宇野～土庄	小豆島豊島フェリー株	⑧
	丸亀～広島	備讃フェリー株	⑨
	小計(7事業者7航路)		
愛媛	魚島～弓削	上島町	⑩
	岡村～今治市	今治市	⑪
	安居島～北条	(有)新喜峰	⑫
	青島～長浜	青島海運(有)	⑬
	大島～八幡浜	田中輸送(有)	⑭
	日振～宇和島	盛運汽船株	⑮
	津島～今治	津島渡船(有)	⑯
	馬島～波止浜	(有)くるしま	⑰
	尾浦～宮窪	シーセブン(有)	⑱
	三津浜～中島	中島汽船株	⑲
	大島～黒島	新居浜市	⑳
	小計(11事業者11航路)		
高知	坂内～埋立	須崎市	㉑
	沖の島～片島	宿毛市	㉒
	小計(2事業者2航路)		
合計	合計(22事業者22航路)		

■ 有人離島の人口減少は、四国全体より速いペース

令和2年国勢調査より

有人離島の人口推移(対 2015 年比)

四国地域の 人口推移

2015年 : 385 万人 ⇒ 4 %減 2020年 : 370 万人

有人離島(四国59 島)の人口推移

2015年 : 4.8 万人 ⇒ 10%減 2020年 : 4.3 万人

香川(24島)

2015年 : 3.4 万人 ⇒ 6%減 2020年 : 3.2 万人

愛媛(31島)

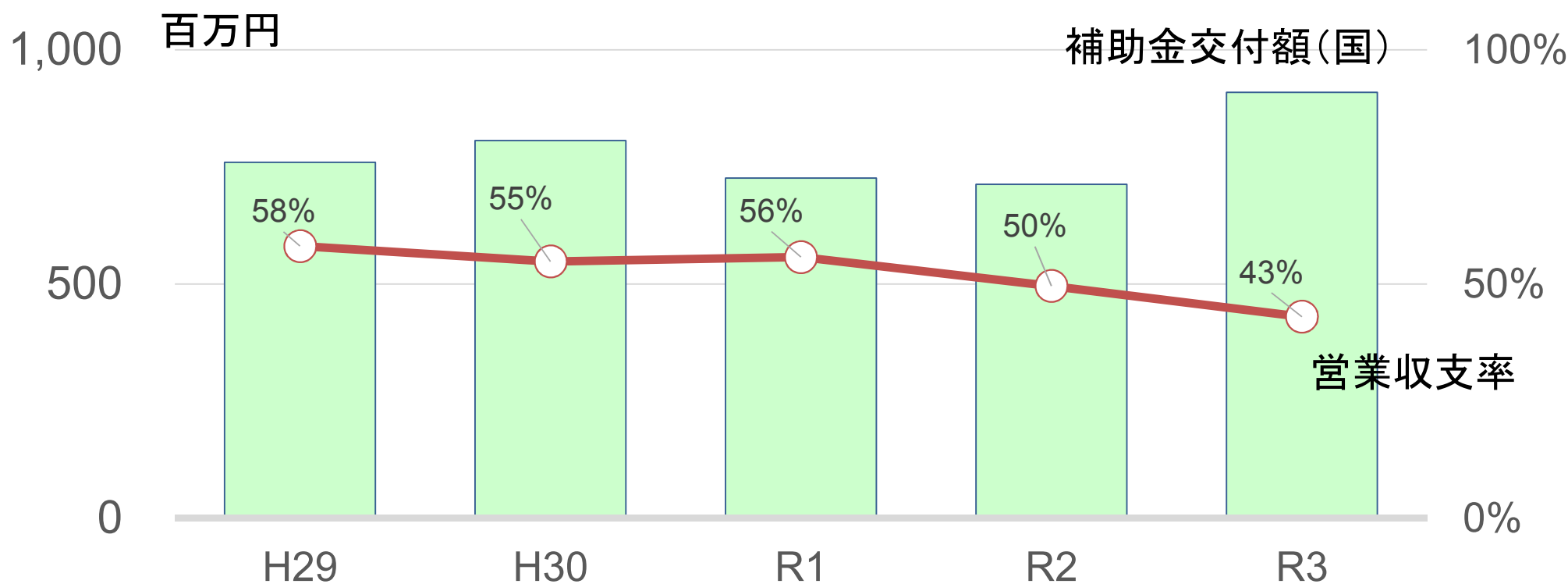
2015年 : 1.4 万人 ⇒ 14%減 2020年 : 1.2 万人

■ 令和4年度の四国の国庫補助航路数は22航路

⇒ 四国の離島航路の約45%を占めており、航路維持のために国や自治体の支援が不可欠な状況

■ 事業者の営業収支率(収入/費用)は55%前後で推移していたが、感染症拡大以降は、50%を下回る状況

⇒ 国庫補助金で補填しきれない欠損については、地方自治体(県及び市町村)の負担により、補助航路事業者へ補填されている。



- 海上輸送サービスの質の向上はもとより、島を訪れるための新たな移動目的を創出する等、航路活性化に向けた取り組みが必要

海上輸送サービスの構成要素

安全安心

接遇

船舶

航路

運航ダイヤ

2次交通との
接続性

待合所

情報提供

×

活性化方策

潜在需要の掘り起こし

移動目的の創出
(新たな観光コンテンツの創出等)

⇒観光関係の補助金を活用し、事業者の取組を後押し

海事関係で活用可能な観光関係の補助金(令和4年度現在)

種類	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(交通サービスインバウンド対応支援事業)	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業(交通連携型)	地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業
目的・概要	公共交通機関等におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語での観光情報提供機能の強化等に関する個別の取組を支援する	観光分野の事業者等と交通事業者が連携して行う、交通を軸とした地域への誘客促進や付加価値向上の取組を支援し、地域全体の魅力及び収益力の向上を図る	地域経済を支える観光の本格的な復興の実現に向けて、地域の稼げる看板商品の創出を図るため、地方公共団体、DMO、民間事業者等の地域の関係者が連携して実施する自然、食、歴史・文化・芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用したコンテンツの造成から販路開拓まで一貫した支援を実施する
補助要件等	訪日外国人の入国から目的地までの移動にかかる受入環境整備であり、地域ブロックにおける観光施策との整合性が図れるもの	計画の申請者が交通事業者であり、構成員に観光に関する団体(自治体・観光協会)又は観光事業者(宿泊事業者、旅行事業者等)を、それぞれ1者以上含んでいること	地域ならではの観光資源を活用した、ツアー、アクティビティ、体験、イベント等のコンテンツの磨き上げを図る取組であること ・総事業費が700万円以上の取組であること 等
補助対象者	一般旅客定期航路事業者、旅客不定期航路事業者等	一般旅客定期航路事業者、旅客不定期航路事業者等	以下の要件を全て満たす者 ・地域の関係者と連携すること ・地方公共団体、DMO、観光協会、民間企業等であること ・地方公共団体でない場合は、事業に係る全ての市区町村の同意を得ること
補助対象経費(詳細は別紙をご覧ください)	●受入環境整備費用(Wi-Fi整備、多言語対応、洋式トイレ化、キャッシュレス対応、感染症拡大防止対策等) ●非常時充電環境確保、旅客船及び旅客船ターミナルの移動等円滑化(多機能トイレの設置、段差解消(エレベーター、スロー等))、サイクリップの導入等に係る費用 等	●船を活用した観光イベントを開催するために要する経費 ●企画乗船券の造成・プロモーションに要する経費 ●船・旅客船ターミナルの観光魅力向上に資する改修等に要する経費 ●観光目的で行う、イベント運航・増便等についての実証運航に要する経費 ●船内・旅客船ターミナルの受入環境向上に要する経費	①観光資源を活用したコンテンツ造成に係る経費 ・滞在型コンテンツ旅行商品等の企画開発 ・観光イベントの実施 ・造成したコンテンツに関するモニターツアーの開催 ②備品の購入・設備の導入に係る経費 ・コンテンツの造成等に必要となる備品の購入費や設備の導入費 等 ③プロモーションに係る経費 ・造成したコンテンツの販路拡大を目的とした広告宣伝費 等 ④新型コロナウイルス感染症対策にかかる経費 ・必要となる物品(マスク等)の購入・レンタル費
補助率	1/3(案内標識の多言語等)、1/2(多言語拡声装置、非常用電源等)、1/2(感染拡大対策: 補助対象経費が100万円以下の部分については定額補助)	・イベント開催経費【1/2:上限1,000万円】 ・企画乗船券等【1/2:上限500万円】 ・実証運行【1/2:上限2,500万円】 ・車両/船体等改造費【1/2:上限1,000万円】 ・受入環境整備【1/2:上限500万円】	・500万円まで定額(10/10) ・500万円を越える部分については1/2 補助上限額:1,000万円

事業概要

ゆったり・のんびりとした「しま時間」が満喫できる興居島と、ノスタルジックな雰囲気之三津浜地区で、定住人口や交流人口の減少などの課題を解決するために、空き家を活用した店舗（飲食店やゲストハウスなど）や地場産業などと連携し、コミュニティツーリズムや体験型の観光コンテンツを取り入れた看板商品を創出する。

地域の課題

- ・定住人口の減少 ※松山市地区別推計人口より
興居島由良地区（H27:654人⇒R2:549人 約16%減少）
三津浜地区（H27:5,072人⇒R2:4,617人 約9%減少）
- ・空き家の増加：定住していない家屋が増加し、防災・防犯面からも悪影響が懸念
- ・交流人口の減少：人口減少に加え、コロナの影響で観光客等が減少



課題に対しての取組

<興居島>

松山～興居島間のフェリーを運航する株式会社ごごしまにおいて、2021年7月新たに不動産部門を設立。興居島で問題となっていた空き家を所有者から引き取り、自社で改修。興居島で新たに小商を行おうとする人々と空き家の仲介を行い、販売・賃貸として貸し出しを行う。

<三津浜>

・三津浜にハマる雰囲気づくりや環境づくりを行う「ミツハマル」というプロジェクト立ち上げ、三津に関心を持ってもらえたり、訪れる機会が増えるようなイベントを実施。

・「ミツハマル」プロジェクトの中で「三津浜町家バンク」を設立し、空き家・空き店舗の仲介事業を行う。

地域の観光資源

- ✓ 愛媛県を代表する観光地である道後温泉・松山城のある松山市内からのアクセスの良さ(市内から最寄り駅まで電車で15~20分)
- ✓ 松山空港・松山観光港等が近くにあり、四国外からの誘客を行いやすい立地
- ✓ 空き家を改修したおしゃれで個性的な店舗(カフェ、クラフトビール、ベーカリーなど)や長期滞在が可能なゲストハウスやワーケーション施設 など



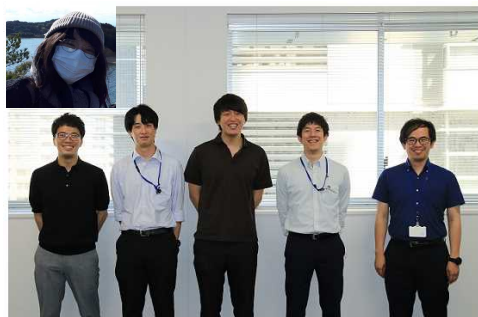
実施する事業

- 地元の生活を疑似体験できるワーケーションプログラム
地域住民と交流し、地元の生活を疑似体験することができるワーケーションのプログラムを造成。
- 三津、興居島 食べて飲んで話そうツアー
コーヒー店やパン屋などの飲食店の店主と交流できるパッケージツアーを造成。
- タンデム・電動自転車で巡る興居島地域資源探訪サイクリングツアー
タンデム・電動自転車で、地元の食材を使った料理を提供する飲食店や地域住民も知らないような美しいスポットを巡るサイクリングツアーを実施。



【メンバー】

四国運輸局内の若手職員6名（交通政策部、観光部、海事振興部）
により構成（令和4年1月14日発足）



【目的】

観光関係者とも連携しながら、四国運輸局が技術的な助言や活用可能な国の支援策の紹介を行い、ポストコロナ時代にも対応でき、観光振興にも寄与する二次交通の実現を目指す

まずは、小豆島における二次交通（主に来訪者をターゲット）をテーマに、関係者との連携により具体的な取組を検討・実施しながら、他地域への横展開も可能な施策について検討し、四国内各地域における二次交通の改善へと繋げる

問題意識①: 来訪者に向けた情報提供の基盤となる、バスのGTFSデータを早急に整備する必要

主な取組

- GTFS-JPの整備・情報発信に向けたキックオフミーティングの開催(R4.1.25)
⇒島内関係者及び有識者にご出席いただき、GTFS-JPの整備に向けた協議(作業手順や役割分担の確認等)を実施。
- GTFS-JPの整備・情報発信に係る伴走支援(R4.1～4月)
⇒小豆島オリーブバス、小豆島観光協会、四国運輸局が連携し、小豆島オリーブバス8路線分のGTFS-JPを整備し、経路検索サイト(Googleマップ)において経路検索が可能に。(R4.4月～)。

問題意識②: 多様な移動手段や情報収集手段が存在する中で、「来訪者へ確実に届き」、
「来訪者が選択しやすい」情報提供体制を構築する必要

主な取組

- 小豆島現地調査(R4.2.9)
⇒2グループに分かれて、土庄港、池田港からそれぞれ上陸し、「観光客になりきって」バスで島内を周遊。
情報提供の現状把握に加え、観光客目線で「気付いたこと、感じたこと」(少しでもストレスに感じたこと)を洗い出し。
- 交通・観光関係者との意見交換会(R4.3.7)
⇒現地調査等で把握した島内の二次交通に関する課題を共有し、解決に向けた方策について意見交換。
⇒課題解決に向けて活用可能な国庫補助事業について情報提供。
- 国庫補助活用に関する事業者からの相談対応(随時)
⇒島内事業者に対し、二次交通に関する実証、観光資源・宿泊施設の磨き上げに関し、地域課題に応じて活用可能な国庫補助事業の情報提供、活用に向けた相談対応を実施。

- 交通情報については、約4割が経路検索サイトから入手
- 四国観光での困りごととして、「交通情報の入手」に関する項目が上位に



来訪者がストレスなく二次交通にアクセスできるための情報提供の基盤となる
GTFSデータの整備が課題

▽ 現地の交通情報について調べた際の手段

出典:「コロナ禍の生活におけるインターネットや SNS からの“情報”に対する意識と旅行」
に関する 意識調査(株式会社JTB)

旅行会社、 宿泊予約専門の 観光情報		旅行口コミ サイト		地図・交通情報 ルート検索サイト		観光協会などの サイト		グルメサイト		旅行ガイドブック 旅行雑誌など		企業の公式 SNS ブログなど		個人の SNS ブログなど		訪問先に直接 電話やメール で確認		観光案内所の パンフレット	宿泊先のフロント などに相談	現地のフリー ペーパーなど	その他		調べていない	
旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅ナカ	旅ナカ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ	旅マエ	旅ナカ
10.7	7.0	6.1	4.1	41.9	40.7	8.1	5.3	2.3	1.8	6.6	2.9	2.5	1.7	2.4	2.5	1.8	1.3	3.6	3.2	1.9	0.5	0.4	40.5	43.7

▽ 四国観光での困りごと

出典:令和元年度「四国広域観光推進調査」(四国ツーリズム創造機構)

外国人	
① コミュニケーション	18. 1%
② 公共交通の利用方法・利用料金・情報の入手	9. 0%
③ 目的地までの公共交通の経路情報の入手	8. 7%
④ 両替・クレジットカード利用	5. 8%
⑤ 無料公衆無線(WiFi)・LAN環境	5. 0%

日本人	
① 目的地までの公共交通の経路情報の入手	18. 1%
② 公共交通の利用方法・利用料金・情報の入手	12. 4%
③ 飲食店情報の入手・予約	11. 2%
④ 地図、パンフレットが少ない・わかりにくい	8. 0%
⑤ 無料公衆無線(WiFi)・LAN環境	7. 6%

■小豆島地域の状況(令和4年1月末時点) 例:「Googleマップ」

航路: 全ての定期航路が検索可能

バス: 大半の路線(小豆島オリーブバス8路線)が検索不可

※一部路線(小豆島オリーブバス1路線、小豆島町営バス)のみ検索可能



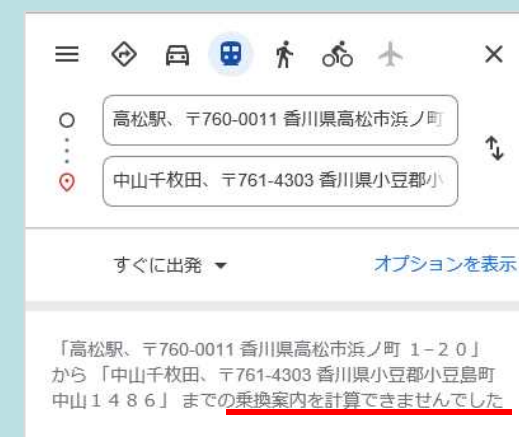
島内目的地までのバスを含めた経路検索が困難な状況

(例) 高松駅⇒中山千枚田(小豆島町) ※GTFS-JP整備前



中山千枚田(中山線「春日神社」から徒歩2分)

Googleマップで
経路検索



観光地近くにバス停はあるものの、GTFS-JP未整備のため、Googleマップで経路検索不可
⇒行程作成の段階(旅マエ)で、「中山千枚田」が観光の選択肢から外れてしまう可能性も・

■ GTFS-JPを整備し、経路検索事業者(Google合同会社)へ情報提供し、経路検索サイト(Googleマップ)へ反映

(例) 高松駅⇒中山千枚田(小豆島町) ※GTFS-JP整備後

①アプリを開く(WEBでも可)



②出発地・目的地を入力



観光スポット名・施設名で検索可能
(必ずしも駅・停留所名を入力する必要なし)

③検索結果が表示される



- ✓ 航路とバスを合わせた、島内目的地までの経路がスムーズに検索可能
- ✓ 時間帯に応じた最適な航路(【例】高松港～土庄港・池田港)をスムーズに選択可能